

特別展

藍

と

2025年

7/29~9/23

火・祝

〔前期〕 7/29 火 ~ 8/24 日

〔後期〕 8/26 火 ~ 9/23 火・祝



白木綿地下がり葛模様浴衣

江戸時代後期~明治時代

松坂屋コレクション

J.フロントリテイリング史料館蔵

〔前期展示〕

紅の



絹地紅板締め花鳥松皮菱模様着物

江戸時代 個人蔵

〔後期展示〕

ものがたり

開館時間 10:00 ~ 17:00

(入館は16:30まで)

休館日 毎週月曜日

(休日の場合は翌火曜日)

入館料 一般1,500円

大学生・高校生 1,000円

中学生以下無料

※同会期中のリピーターは500円引き
(一般、大学生・高校生料金お支払いの方のみ)

※20名様以上の団体は500円引き

※障がい者手帳、被爆者手帳をご提示の方と
その同伴者1名は無料

※お着物(和装)でご来館の方は300円引き

※ミュージアムパスポート5,500円

※オークラ東京とのセット鑑賞券

(ランチセット6,000円、茶菓セット3,100円)

割引併用不可

主催 公益財団法人 大倉文化財団 大倉集古館

協力 米沢市上杉博物館、株式会社ホテルオークラ
大成建設株式会社、特種東海製紙株式会社

企画協力 株式会社イデップ

大倉集古館

OKURA MUSEUM OF ART

東京都港区虎ノ門 2-10-3 (オークラ東京前)

特別展 藍と紅のものがたり

山岸幸一（赤崩草木染研究所）
双紬織着物 寒染®「紅花追分け」
2010年 作家蔵
〔前期展示〕



綾子地紅花染絞り縹扇面に花模様振袖
江戸時代 河北町紅花資料館蔵
〔後期展示〕



縹絹地青海波模様唐衣
（采女装束のうち）
江戸時代 奈良県立美術館蔵
〔前期展示〕



納戸麻地熨斗目取り紋散し模様被衣
江戸時代 18〜19世紀 松坂屋コレクション
J・フロントリテイリング史料館蔵
〔後期展示〕



松原伸生、麻地長板中形漣模様浴衣
2019年 個人蔵
〔後期展示〕



古来より、人々は衣服を染めるために様々な染料を使用してきました。19世紀の中頃に合成染料が誕生するまでは、動植物から抽出した天然の染料によって色を手に入れました。こうした染料をつかった日本の色彩文化において欠かせないものが、植物のアイとベニバナから生まれる藍色と紅色です。手間のかかる工程による伝統的な藍染と紅花染は、それぞれ独自の文化を築いてきました。

藍は古くから日本で親しまれ、型染めや手描き染め、絞り染め、友禅染め、ろうけつ染め、草木染めなどといった様々な染色技法と結びついてきました。江戸から現代にいたる藍染の着物や浴衣を、麻・絹・木綿などの素材との兼ね合いや、先に挙げた染色技法などに着目して紹介します。

一方、古くから貴族のあこがれの色であった紅は、茎や葉、樹皮などを用いることが多い草木染の中でも花の部分を使用する珍しい染物です。江戸時代の公家や武家の女性が着用した美しい打掛や、紅板締めによって染色された布を使用した下着や子供服、そして山形地方において紅花染の再興を担った人々による作品を紹介します。

本展では、ふたつの色と染料技術の歴史、そこから生まれた衣類や反物などを紹介し、その魅力を見つめなおします。



青山永耕 紅花屏風



江戸時代後期 山寺芭蕉記念館蔵 〔通期展示〕

講演会 1

「ジャパンプルー」

講師：福本潮子氏（藍染美術家）
日時：8月9日（土）14：00から（約1時間）
会場：大倉集古館 地下1階ホール
聴講料：無料（ただし入場には入館券が必要です）
定員：60人（事前申込制、先着順）
お申込み：大倉集古館 TEL：03-5575-5711（月～金10：00～17：00）

講演会 2

「紅と藍の板締め」

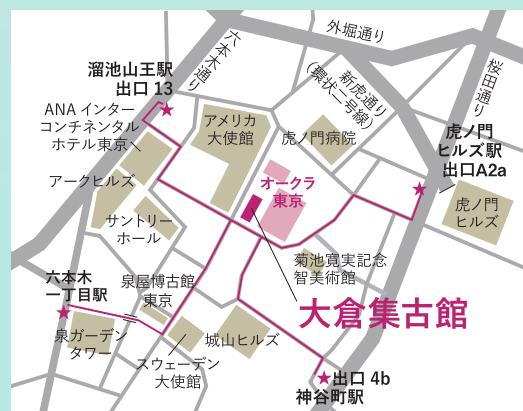
講師：石塚広氏（染織研究家）
日時：9月6日（土）14：00から（約1時間）
会場：大倉集古館 地下1階ホール
聴講料：無料（ただし入場には入館券が必要です）
定員：60人（事前申込制、先着順）
お申込み：大倉集古館 TEL：03-5575-5711（月～金10：00～17：00）

当館学芸員によるギャラリートーク

担当：平塚泰三（学芸部長）、四宮美帆子（主任学芸員）
日時：8/5（火）、8/28（木）、9/9（火）各14：00から（約1時間）
会場：大倉集古館展示室 1階EV付近にお集まりください。
お申込み：不要（入場には入館券が必要です）

◎アクセス（東京メトロ）

- 南北線 六本木一丁目駅 中央改札口（泉ガーデン方面）より5分
- 日比谷線 神谷町駅 4b 出口より7分
- 日比谷線 虎ノ門ヒルズ駅 A2a 出口より8分
- 銀座線・南北線 溜池山王駅 13番出口より10分



会場

公益財団法人 大倉文化財団 大倉集古館
〒105-0001 東京都港区虎ノ門2-10-3
（オークラ東京前）
TEL：03-5575-5711
<https://www.shukokan.org/>



オークラ東京 ランチャタイム・スペシャルトークイベント ～ふたつの色の魅力と伝統の染織技法～

染織作家による貴重なお話と中国料理「桃花林」のオリジナルランチコースをお楽しみのおと、休館日を利用した特別鑑賞会でゆっくりとご覧いただけます。

講師：秋山真和氏（「綾の手紬染織工房」創設者／伝統工芸士、現代の名工）
新田源太郎氏（「よねざわ新田」5代目当主／日本工芸会正会員、伝統工芸士）
日時：9月1日（月）11：00～13：30（10：30開場）
※イベント参加者限定 特別開館（イベント終了後～15：30）
会場：オークラ東京 宴会場「オーチャード」（プレステージタワー2階）
料金：15,000円（消費税・サービス料込み、お食事・大倉集古館入館券付き）
定員：150名
協力：ハースト婦人画報社「美しいキモノ」

ご予約・詳細はQRコードまたは
オークラ東京公式ウェブサイトよりご確認ください。
お問合せ ◆オークラ東京 イベント係
☎ 03-3224-7688（月～金10：00～17：00／祝日を除く）



次回展覧会

- アートウィーク東京 特別展覧会 ART FOCUS 2025年11月5日（水）～11月9日（日）
- 企画展 人々を援け寄り添う神と仏―道釈人物画の世界 2025年11月22日（土）～2026年1月18日（日）